

2019年5月16日
タイププロジェクト株式会社

タイププロジェクト、TP スカイを加えフィットフォントサービスを拡張 ウエイト、字幅、コントラストの調整に加えて、漢字、仮名、欧文の組替えも可能 新たにプロダクションタイプとタイポテークの欧文フォントを追加

タイププロジェクト株式会社（東京都練馬区 代表取締役社長 鈴木 功、以下タイププロジェクト）は、本日、フィットフォントサービスを拡張し、ウエイトや字幅、コントラストを調整することが可能な「TPスカイフィットフォント」の提供を発表いたしました。また、サービス画面を刷新し、ウエイトや字幅、コントラストの調整に加えて、漢字、仮名、欧文の組替えも実現しています。

フィットフォントは、画面上のスライドバーでウエイトや字幅を調整することで、モニタのサイズやディスプレイの解像度、広告やカタログなど使用状況に応じて最適なフォントをお選びいただけるサービスです。独自開発技術により、ウエイトやコントラスト、字幅を変更した場合でも、字画の比率が適正で常にバランスの取れた状態を保ち、ダイナミックに変化しながらもデザインの一貫性と品質を保持することを実現しています。

タイププロジェクトでは、企業のメッセージを伝えるための手段としてフォントによるブランディングを提案しています。フィットフォント技術を用いて、AXIS FontやTP明朝、TPスカイのウエイトや字幅、コントラストを調節することで最適な組合せを提供します。また、欧文部を他社欧文と組替えるほか、オリジナルのひらがなやカタカナを開発するなど、世界有数のグローバル企業にコーポレートフォントを提供しています。

タイププロジェクトの鈴木功は、「フィットフォントを基盤としたコーポレートフォント提供の機会が増えていることをとても嬉しく思っています。コーポレートフォントは、企業の声に相当するものだと考えています。自社の声にふさわしいフォントを用いることで、企業のアイデンティティを表現できるとともに、長期的かつ広汎に活用することでコストの削減にもつながります。今後も、国内外の欧文書体メーカーと協業することで、フィットフォントの導入が広がることを期待しています」と述べています。

サービスの拡張

今回、フィットフォントに対応するTPスカイは、ウエイト・字幅・コントラストの3つの軸を持つ初めての日本語フォントです。TPスカイフィットフォントでは、26段階のコントラストと34段階のウエイト、16段階の字幅で、14,144のバリエーションを用意しています。UIメニューからデジタルサイネージまでの幅広い用途や、画面のサイズや使用目的に応じて最適フォントをお選びいただけます。

さらに、今回リニューアルしたフィットフォントサービスのプルダウンメニューでは、異なるフォントの漢字・仮名・欧文を組替えてご確認いただけます。

欧文フォントでは、Commercial Type（コマーシャルタイプ、米国 ニューヨーク）の欧文書体を追加するとともに、新たにProduction Type（プロダクションタイプ、フランス パリ）とTypotheque（タイポテーク、オランダ ハーグ）の書体をリストに加えしました。

Type Project

組合せ例

TPスカイフィットフォント + コマーシャルタイプ Chiswick Sans Semibold

アウトラインの滑らかさに重点を置いた書体
The quick brown fox jumps over the lazy dog.

TPスカイフィットフォント + プロダクションタイプ Granville Light

アウトラインの滑らかさに重点を置いた書体
The quick brown fox jumps over the lazy dog.

TPスカイフィットフォント + タイポテーク Fedra Sans Light

アウトラインの滑らかさに重点を置いた書体
The quick brown fox jumps over the lazy dog.

フィットフォント導入例

フランスの伝統的な自動車メーカーであるAlpine（アルピーヌ）には、プロダクションタイプが開発したAlpine Ascensionに合わせてAXIS Fontのウエイトを調整した「Alpine AXIS」を提供しました。

株式会社デンソーへコーポレートフォントフォントとして提供した「DENSO TP 2017」と「DENSO Sans TP 2017」では、Kontrapunkt（コントラプункト、デンマーク コペンハーゲン）が開発した欧文フォントに合わせてAXIS Font のウエイトを調整し、欧文書体の組替えを行いました。

また、さくらインターネット株式会社に提供した、TP スカイのカスタマイズ版の「Haru TP」では、日本デザインセンターが制作した主要な欧文と数字をTPスカイと組合せるとともに、仮名7文字のデザインをさくらインターネットのロゴイメージに合わせて変更して提供しています。

■ サービス詳細

フィットフォント : <http://typeproject.com/service/fitfont>

■ 提供方法

「お問い合わせ」ボタンから詳細またはお見積りをお問い合わせください。組合せフォントは、AXIS Font または TP 明朝、TP スカイのライセンスに加えて、組合せ費用（250,000 円～）と欧文フォントのライセンス費が必要となります。＊プルダウンメニュー以外の欧文フォントとの組合せにも対応いたします。

Type Project

タイププロジェクト株式会社について

「文字の可能性を広げたい」それがタイププロジェクトの原動力です。2001年の創業以来、AXIS Font や TP 明朝など、次世代標準を目指したベーシックなフォントを提供しています。また、企業のブランディングを促進するコーポレートフォント、都市のアイデンティティを表現する都市フォントなど、多彩な成果をあげています。「文字を通じて人々の生活をより快適に、より豊かなものにする」という企業理念のもと、新しい社会に必要な書体を開発する 21 世紀の文字カンパニーとして活動しています。

Web : typeproject.com

Facebook : facebook.com/typeproject

Twitter : twitter.com/typeproject

Instagram : instagram.com/typeproject_official

リリース・製品に関するお問合せ先：

タイププロジェクト株式会社

admin@typeproject.com

タイププロジェクトおよびType Projectロゴ、TP明朝、TPスカイ、濱明朝はタイププロジェクト株式会社の日本およびその他の国々における登録商標または商標です。その他の商標はそれぞれ各社の登録商標または商標です。